

令和7年度使用教科用図書調査専門委員会 調査研究報告書 観点・着眼点（ 種目名 技術家庭・家庭分野 ）

観 点		着 眼 点
1	学習指導要領との関連	家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにするための工夫・配慮の程度はどうか。
		家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養うための工夫・配慮の程度はどうか。
		自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うための工夫・配慮の程度はどうか。
2	「コンパスぶらん（第4期名古屋市教育局振興基本計画）」との関連	「自分に合ったペースや方法で学ぶ」ことができるような工夫・配慮の程度はどうか。
		「多様な人と学び合う」ための工夫・配慮の程度はどうか。
		「夢中で探究する」ための工夫・配慮の程度はどうか。
3 内 容	(1) 内容の選択	人権の尊重や教育の政治的中立に関する配慮の程度はどうか。
		社会の変化に対応し、日常生活に役立つための教材の選択についての程度はどうか。また、実践的・体験的な学習活動ができるような工夫の程度はどうか。
	(2) 内容の程度	生徒の生活実態に即し、持続可能な社会の構築に向けた現代の社会生活や科学技術の進歩への対応について内容の適切さはどうか。また、補充的な学習や発展的な学習の内容の適切さはどうか。
	(3) 内容の構成	系統的に組織・配列され、他教科等と関連付けながら学習活動が深められるような工夫の程度はどうか。また、学校、地域の実態に応じて、指導計画を弾力的に運用できるような工夫の程度や補充的な学習や発展的な学習の分量の適切さはどうか。
4	タブレット端末の活用	タブレット端末を活用して学習の効果を高めるための工夫の程度はどうか。
5	表記・表現及び使用上の便宜等	実習等における安全面への配慮の適切さはどうか。また、本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表等の関連や目次・索引・注・凡例・諸表・資料等の適切さはどうか。
6	印刷・造本等	「ユニバーサルデザイン化の観点から印刷の鮮明度、文字の大きさ、書体、色彩等」、「造本の堅ろうさや体裁」、「再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮」など印刷造本等の工夫の程度はどうか。

令和7年度使用教科用図書 調査専門委員会 調査研究報告書（種目名 技術家庭・家庭分野）

観点	発行者	東京書籍		教育図書		開隆堂	
		評価	特徴	評価	特徴	評価	特徴
1	学習指導要領との関連		自分自身の生活を切り拓くために、学習する内容と生活を結び付け、人や地域、社会との共生を考える内容が選択されている。「いつも確かめよう」は、生活での実践に必要な基本的な知識及び技能を活用できる。		自らの力で未来を切り拓き、諸問題に柔軟に対応していく知識や豊かな心、態度を育むための内容が掲載されている。章末に知識や技能を確認する「学習の振り返り」があり、学習を定着し生活に生かすことができる。	○	地域や社会とかわりながら、命と暮らしを大切にすることを通して、持続可能な未来へつなぐことを学ぶことができる内容が選択されている。実習時は「調理方法Q&A」があり、なぜそのようになっているかを考え、生活に十分に生かすことができる。
			生活の中から課題を見つけて解決するプロセスについて、問題解決的な学習過程を思考ツールの図と共に適切に配列されている。学習課題を示すことで、生活の営みに係る見方・考え方を働かせながら、自らの問題発見につなげられるよう工夫されている。	○	問題の発見から課題の解決、次の課題につながる問題解決的な学習について、6つのステップを統一し、思考を促すよう配列されている。学習の目標と学習過程を明示しながら活動例を取り上げ、身近な問題から課題を設定し、解決できるようよく工夫されている。		内容の節ごとに、「学習の目標」で始まり、問題解決的な学習を通して創意工夫する力を養うように課題が配列されている。目標、導入課題、本文を展開し、最終章で学習のまとめを使って自己評価する構成で、問題解決的な学習への取り組み方を視覚的・具体的に示すよう工夫されている。
		○	生活をよりよいものにする意欲と態度を引き出すよう、巻頭に1年生の最初と学習後にできるようになったことを確認したり、巻末に未来の自分へ手紙を書く欄を設けたりするなど工夫されている。各編の導入では、生活の営みに係る見方・考え方について例示し、よりよい生活を創ろうとする態度を身に付けられるようよく配慮されている。	○	生徒の興味・関心を引き出すよう、日常の疑問や社会の問題を扱ったコラムを掲載し、自分事として捉えることができるよう工夫されている。章末の「学びを生かそう」は、これまでの学びを踏まえて自分事として問題発見、課題設定、課題解決への流れがかなり明確に示されている。		家族や地域の人々との関わりを考え、家族と家庭生活を工夫し、創造しようとする実践的な態度を養うため、題材を工夫して配置されている。自分の生活を、生涯の見通しをもって見つめること、自分と家庭生活を、地域・社会との関連で見つめることができるよう工夫されている。
2	「コンパスぶん（第4期名古屋市教育局振興基本計画）」との関連	○	個に応じて実践的・体験的な学習活動が行えるよう、実習の題材について多種類の事例を取り入れている。基本的な技能は、「いつも確かめよう」の二次元コードを活用し、自分のペースで確認ができるようよく工夫されている。	○	各学習の前に「見つめる」として、興味を抱きやすい写真や1コママンガが配置され、関心をもって学習できるようよく配慮されている。実習、理解度や個人に応じたアレンジ例が多く示されており、自分のペースで取り組めるよう工夫されている。		自分の興味・関心を大事にし、自分事として学ぶ導入や課題を工夫し、課題を通して気づき、考え、理解することができる構成になっている。キャラクターが学習案内や考えるヒントを促し、自分事として主体的に取り組めるよう工夫されている。
			主体的に調べたり、多様な人と協働して比較・検討したりするために、「考えてみよう」「調べてみよう」などの活動が取り入れられている。「プロに聞く!」では、家庭分野に関係の深い仕事に就いている人々からのメッセージを取り上げている。		実践的・体験的な活動を通して学習できるように、「やってみよう」「話し合ってみよう」などの活動が掲載されている。「センパイに聞く!」では、地域や社会で活躍している方からのメッセージを取り上げている。		主体的・対話的課題を豊富に取り上げ、深い学びにつなげるために、「話し合ってみよう」「調べてみよう」などの活動が示されている。「先輩からのエール」では、各内容に関連したさまざまなキャリアの方からのメッセージが掲載されている。
		○	食品の概量、幼児の使う物が実物大写真で掲載され、すべてのページに資料の二次元コードが表示されるなど、生徒の興味・関心に対応するよう配慮されている。	○	実物大の食材写真や衣服の役割写真を示し、モデル家族をアニメのキャラクターを用いて例示するなど、生徒の生活経験、生徒の興味・関心に対応するよう、よく配慮されている。	○	食品の概量の実物大写真、メジャーリーガーの目標達成シートや制服に関する具体的な事例の提示など、生徒の興味・関心に対応するよう、よく配慮されている。
3	内容		(1) 内容の選択		問題を見出し、生活の課題を解決する題材を示すことで、個人の価値を尊重し、創造性を培うことができるよう工夫されている。性別や年齢、年齢にかかわらず協力・協働ができるよう、イラストや写真、本文の記述などに配慮されている。	○	自分の考えを記入する欄を設けることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、自主及び自立の精神を養うことができるよう工夫されている。写真やイラストは、男女の平等、高齢者や障がいのある人、外国籍の人などで使用され、よく配慮されている。
			(2) 内容の程度	○	主体的に学習に取り組めるよう、「やってみよう」「話し合ってみよう」など、実践的・体験的な活動を通して学習できるワークを選択できる。生徒の興味・関心に合わせた題材を幅広く扱い、生活に生かせる学習活動が行えるよう工夫されている。	○	自分事として、家庭生活・地域・社会に関心をもち、問題を見つけて解決に努め、生活に生かす力を身に付ける内容が選択されている。実習題材では、科学的根拠による記述で、納得・理解した上で実習が進められるよう、よく工夫されている。
		○	(3) 内容の構成		持続可能な社会の実現に向けて、SDGsの目標のアイコンを用いて、主体的に捉えられるよう家庭分野の学びと関連する資料が適切に示されている。また、生徒の理解度や興味・関心に応じて、学習を進めることができるよう、発展的な学習内容のページを確保している。	○	SDGsの概要がイラストや写真でわかりやすく表現されている。各内容の最後には持続可能な生活に関するページを設け、各内容とSDGsとのつながりが適切に示されている。また、興味・関心に応じた「豆知識」のページや発展的な学習内容のページを十分に確保している。
4	タブレット端末の活用		基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで記述されており、系統的に学習できるように組み立てられている。他教科や小学校との学習のつながりや系統性を確認できるリンクマークが示され、分野間や教科間、校種間の連携を高められるよう工夫されている。実習時の題材について多種類の事例を提示し、学校や地域の実態に合わせて学習内容を選択できるよう構成されている。		学習指導要領の指導事項ア・イの順に沿ってページが配列されており、系統的に学習できるように組み立てられている。各教科や小学校、高校との学習の関連を「関連マーク」で示し、見通しをもって幅広い知識や教養が身に付けられるよう工夫されている。関連マークを用いることで、指導計画を立てる際に、学校や地域の実態に即して学習内容を選択できるよう構成されている。		各章、各節の内容は、基礎・基本から応用・発展へと系統的に学習ができるように組み立てられている。関連する学習内容にマークと共に具体的な事項が示され、他教科や技術分野、小学校の学習を有機的につなぐよう工夫されている。学校や地域の実態に合わせて学習を進めることができるよう、学習指導要領と同じABCの配列順に構成されている。
		○	すべてのページ右上に、動画やシミュレーション、ワークシートなどといった教科書と連動して利用できる二次元コードを活用した資料が用意されており、興味・関心のある内容を調べることができるよう、よく工夫されている。		学習を補うコンテンツや関連のホームページを学習用端末から参照できるように、二次元コードを活用した資料が用意されており、知識及び技能を確実に身に付けられるよう工夫されている。		内容ごとに整理された動画や学習カードなど二次元コードを活用した資料が用意されており、生徒が主体的に取り組む、学びを広げ深められるよう工夫されている。
		○	巻頭に「実習を楽しく安全に進めよう」を設け、安全や衛生のポイントには「安全マーク」、「衛生マーク」を付けて、安全への意識を高めてから各実習に取り組むことができるように、よく配慮されている。また、実物大の写真で示したり、実習を手順ごとに写真付きで掲載したりすることで、視覚的に捉えやすくなるよう工夫されている。	○	巻頭の「実習は安全に取り組もう!」では、実習時の服装や取り組み方の注意点をとり上げ、注意することには「安全マーク」、「衛生マーク」を示し、安全で衛生的な実習を行うことができるように、よく配慮されている。また、実物大の写真で示したり、表情が分かる写真を掲載したりすることで、効率的で、実感をもって学習が進められるよう工夫されている。		ガイダンスに「楽しく安全に実習しよう」を設け、実習ページには「安全マーク」、「衛生マーク」を付けて、注意喚起を行うなど、実習上の安全と衛生について生徒が視覚的に分かるように配慮されている。また、実物大の写真で示したり、関連する学習内容にリンクを設けたりすることで、視覚的に理解しやすいよう工夫されている。
6	印刷・造本等	○	印刷は鮮明であり、色彩は豊かで温かみがある。カラーユニバーサルデザインの観点から、全ての生徒の色覚特性に適応するような配色とデザインで構成されている。表紙にはコーティングが施されており、本文用紙の軽量化に努め、製本は堅ろうである。再生紙、植物油インキを使用している。		印刷は鮮明であり、色彩は豊かで優しい色づかいである。カラーユニバーサルデザインの観点に配慮して作られており、軽くて裏写りしない紙を使用することで書き込みにも適している。表紙にはコーティングが施されており、丈夫である。再生紙や植物性インキを使用し、堅ろうさと環境に配慮されている。		印刷は鮮明であり、色彩は豊かで明るい印象を受ける。多様な色覚をもつさまざまな生徒に対応できるよう、カラーユニバーサルデザインの観点で、デザイン、配色されている。表紙にはコーティングが施されており、丈夫である。環境に配慮した用紙やインキを使用し、堅ろうさと環境に配慮されている。

※ 着眼点ごとに、特に優れている教科書には評価の欄に○をつけています。

令和7年度使用教科用図書 調査専門委員会 調査研究報告書「各教科固有の追加調査事項」(種目名 技術家庭・家庭分野)

発行 事項	東京書籍		教育図書		開隆堂	
	評価	特徴	評価	特徴	評価	特徴
小学校家庭科の学習や他教科との関連を見据えた学習が展開されるよう工夫がされているか	○	ガイダンスで、小学校の学習内容を見開きで写真とともに提示し、小学校の学習の上に中学校の学習が積み重なっていることが分かる構成である。 各編の導入では、小学校での学習をキーワードで取り上げ、振り返りながら中学校の学習に入ることができるようになっている。		他教科や小学校との関連をマークで示し、学習内容を深めたり、教員が指導計画を立てる際の参考にしたりできるように配慮されている。 学習内容と小学校とのつながりを振り返って確認し、生徒の学習の習熟度や進度の違いに対応することができるようになっている。		小学校の学習と関連する内容に小学校との関連マークを設け、小学校で学んだ学習を振り返り、中学校の学習に生かすことができるようになっている。 他教科・技術分野との関連マークを付けて、具体的事項を示し、他教科・技術分野とのつながりを意識できるようにになっている。
日本の生活文化に関する学習活動の充実が図られているか		日本や郷土に昔から伝わる料理や食材、衣服、住まいを写真で数多く取り上げている。 地域に伝わる染織として、日本各地に伝わる織りや染めの布を写真や図を取り入れて詳しく解説している。	○	日本の年中行事や食文化、和服の着用、住まいなどを写真やイラストを用いて取り上げている。 和食のだしをとる食材や郷土料理の食材、料理を盛る器についても、写真で視覚的にとらえることができる。	○	幼児の遊びや行事食、建築技術など、日本各地の伝統文化の事例を数多く取り上げている。 浴衣の帯の結び方や種類がイラストや写真を使って示され、解説を見ながら浴衣を着ることができるようになっている。
消費生活や環境に配慮したライフスタイルの確立の基礎となる内容の充実が図られているか	○	消費生活センターに寄せられた中学生に多い相談事項や悪質商法の具体的な事例をイラストや漫画で取り上げ、対応の仕方を考え、話し合うことができるような構成になっている。 自分たちの消費行動が社会づくりに結びつく具体的な考え方を紹介し、責任ある消費者としての自覚と行動を促すようにしている。 エシカル消費やコード決済など、近年の話題の内容に関する資料を多数載せている。 余り布や衣服などを再利用し、資源や環境に配慮して製作した作品例を多数例示している。 生活者として自立するために大切な意思決定のプロセスを食生活、衣生活、消費生活の学習で明確に示し、繰り返し学習することで意思決定能力を身に付けることができるようになっている。		成年年齢引き下げやキャッシュレス化、消費者被害の拡大、未成年者取消権について、統計資料や具体例でイメージし、自分の生活と関連付けて考えることができるようにしている。 プラスチックごみ問題、食品ロスなど、印象的な写真や資料を掲載し、消費生活と環境問題とのつながりをイメージしながら、持続可能な社会の構築について考えることができるようにしている。 資源や環境に配慮した製作の参考になるよう、リメイクの例などを掲載している。不要な服やハンカチを利用した例など、身近なもので取り組みやすいように配慮している。 商品のマークやラベルを裏表紙にまとめて掲載し、様々な学習内容を関連付けて学習することができるようになっている。		中学生の消費者被害をグラフや表で示したり、取り消しができない未成年の契約の具体的な事例を挙げたりするなど、消費生活の仕組みや売買契約、消費者の権利と責任について課題をもって活動できるような構成となっている。 持続可能な社会に向けた消費行動、環境への影響を考えることができ、消費生活に必要な情報の収集・整理ができる構成となっている。SDGsの視点を根底に据えながら、生徒が自立した消費者として消費者市民社会の中で取り組めるように、具体的に示している。 防災対策について、数多くの資料を掲載している。0～2次の備え方や地震保険など様々な制度を取り上げ、平常時からの備えや災害後の生活の立て直しについての詳しい資料を掲載している。

※ 事項ごとに、特に優れている教科書には評価の欄に○をつけています。